

顧客資産130億円 洋失力

運用会社MRI 監視委処分勧告へ

資産運用会社「MRIインターナショナル」(本社、米ネバダ州)が、日本国...
の顧客から預かった資産約1300億円を運用せず、財務局にもその事業報...
書を提出していた疑いがあることが25日、証券市場関係者の話でわかった。資...
の大半が失われている可能性があるという。



色丹島(南)にある学校の廊下には、プーチン大統領の写真や「ロシア 偉大な国」と書かれた国旗が飾られていた。朝日新聞臨時助手のワラジミール・ラブリネフ撮影

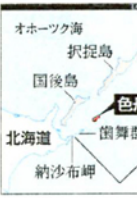
「色丹はロシア」進む愛国教育

「ロシア、聖なる強國...」
ロシア、愛すべき我が...
北緯道納沙岬から約70...
にある北方領土・色丹...
島。3月下旬、中部の町・...
穴洞(クラボサツク)の...
小中高一貫校をたずねた...
1時間目の授業が始まる...
直前の午前8時50分ごろ...
校内放送でロシアの国歌が...

流れた。教室で席に座...
っていた生徒たちが一斉に...
立ち上がった。

約100人が通う同校で...
この習慣が始まったのは、...
昨年12月、前月に学校を訪...
れたサハリン州政府の高官...
が提案したのだという。廊...
下には「ロシア 偉大な...
国」と大きく書かれた国旗...
や、国歌の歌詞、プーチン...
大統領とメドベージェフ...
相の写真がはられていた。

同校は近年、郷土史の教...
育にも力を入れる。きっかけ...
は2007年のラブロフ...
外相の訪問だった。生徒か...
ら「なぜ日本政府は島の返...
還を求めているのか」など...
と質問を受けたラブロフ外



米、B787の停止措置解除

国交省も予定 6月にも運航再開

米連邦航空局 (FAA)...
は25日、バッテリーのトラ...
ブルが相次いで運航を停止...
した米ボーイング787型...
機について、運航停止措置...
の解除を公表した。日本...
国土交通省も続いて停止措...
置を解除する予定で、全日...
本航空や日本航空は6月に...
見通しになった。

安倍首相は6月5日、...
にミヤマーを訪問する機...
会に入った。この時期に...
訪先を検討。テインセイン...
大統領と会談し、民主化支...
援や経済協力について意見...
交換する考えだ。

現職首相の訪問は、19...

7年の福田首相以来36...
年ぶり、安倍首相はイン...
輸出など一経済外交で...
ミヤマーを重視し、政府...
の途上国援助 (ODA) を...
テコに日本企業の進出を...
後押しする方針。首相自...
身の訪問により、ミヤマ...
らなどを開いて事故原因を独...
自に調べているが、特定に...
時間がかかっている。事故...
の根本の原因が判明しな...
いまま、運航再開の許可が...
出ることになった。

大型連休を前に、気象情報会社ウェザーニュー

「1次は26日から5月5日までの天気の見通しが長...

日	天	雲	風	温
24/土	晴			
25/日	晴			
26/月	晴			
27/火	晴			
28/水	晴			
29/木	晴			
30/金	晴			
5/1/土	晴			
5/2/日	晴			

JA プチ問答

日本

「穀物が豊かに実り続ける国」という意味の名称です。日本の水田の歴史は2000年以上。現在では、琵琶湖の40倍もの広がりがあります。

さらに詳しく、JAさきずな

天声人語

大切なニュースが、大きな

来事の陰に隠れてしまふこと...
ある。この17日、米国のオバ...
大統領は「恥ずべき日」だとい...
者会見で厳しく非難した。ボ...
トンのテロ犯人に向けたので...

JA プチ問答

原百穂 豊千瑞

「よきははらのあきのみずはどのどこの国?」

色丹 かすむ日本

支援した施設 老朽化

ロシア着々、インフラ整備

1面から続く

色丹島で最も開けた町・斜古丹(マロクリスク)の海岸近くに、古びたプレハブ平屋建ての小さな診療所が立っている。朝日新聞のロシア人臨時助手が中に入ると、廊下には順番待ちの約20人の患者が並び、診察室で医師が幼児に聴診器をあてていた。

1994年に起きた北海道東方沖地震で壊滅的な被害を受けた同島に、日本人道支援として約1億円かけて96年に建てた「仮設診療所」だ。広さ約250平方メートル。内科、小児科、婦人科などがあり、7人の医師が勤務する。診察室の超音波診断装置や高圧蒸気滅菌器などの医療機器は、18年前に日本から贈られたものだ。

ただ、床が陥没するなど老朽化が激しい。入院患者はごく稀にある築数十年の元幼稚園の建物に受け入れるが、14人ではいっばいになる。内科医のプロスクリン医師に代理は「震災で古い診療所が崩壊し、危険な状況で、日本でも診療所を建ててくれた。でも、建物はもう寿命。医療機器もいつ使えなくなるかわからない」。

一方、隣町の穴濁(クラボゾ)ではいま、鉄筋コンクリートの近代的な病院が建設されている。基礎工事が終わり、労働者たちが鉄骨を組み上げる作業をしていた。北方領土からの人口の流出を防ぐため、2007年から政府が始めたインフラプロジェクト「クリル諸島社会経済発展計画」の一環で、この病院の建設費は約20億円です。

この町には、日本の支援を象徴するもう一つの施設がある。99年に日本の四島支援の新しい医療機器がそろそろ診療の幅が広がる」と期待する。

だが、島の開発が進むにつれて電力需要は急増。マサリンコ所長は「多くの住宅が新築予定で、新しい病院や給水施設もできる。供給能力が追いつかない」。

こうした中、斜古丹に数年前、「発展計画」の一環で発電施設が建設された。中に入ってみると、発電機は英国製だった。



①日本の援助で建設された診療所で、幼児の診察をするプロスクリン医師。医療機器の多くが日本製だ
②色丹島斜古丹の街並み



■色丹島返還に対する島民の意識

	島の返還の賛否	理由
自営業	女 反対	子供や孫もいて、島を愛している
医師	男 反対	戦争の結果、ロシア領。政府も開発を進めている
教員	女 反対	歴史的にロシア領。大開発が進む
教員	男 反対	長年ロシアが支配。変更は不可能
年金生活者	男 反対	資源が豊富で、自然が美しい
飲食店員	女 反対	祖国だから。日本人が来ることは反対
自営業者	女 反対	島は我が子の古里
年金生活者	女 反対	島は戦争で獲得
公務員	男 反対	政府が巨額投資をして島を開発
会社幹部	男 反対	完全にロシア領。政府が巨額の投資
小学生	男 反対	すべての地図で島はロシア領
高校生	男 反対	長年ロシア領で、私の古里
教員	女 反対	歴史的にロシア領。国の投資が活発
公務員	男 反対	開発が進んでいる
技術者	男 反対	私も子供もここで生まれた
年金生活者	男 反対	返還は不可能。島が発展している
運転手	男 賛成	島に将来性がない。日本になれば発展する
年金生活者	男 賛成	元々日本の領土。生活水準が低い
高校生	女 口で分ける合う	経済状況が悪い。日本領なら秩序が良くなる
会社員	女 どちらともいえない	日本になれば生活が良くなるかも

北海道東方沖地震では、色丹島に10近い津波が押し寄せ、島の大半の家屋や工場が倒壊。8割の島民が難民を希望したほどの打撃を受けた。震災後は多くは、大半の住民がテントや車の中で暮らした。ソ連崩壊後の経済混乱などでロシア政府の支援はなかなか届かなかった。

まもなく、日本から大量の食料品や医薬品が届けられ、日本政府によって仮設の診療所や教室なども建てられた。99年に行った朝日新聞のアンケートで住民の7割が「返還されてもいい」と答えるほど日本への親近感が高かった。

南クリル地区(国後島、色丹島)議会のトマン議員は「島民はこれまで日本の支援を覚えていて、感謝している」と話す。だが、北方領土が今では直接隣接している。

支援に積極的だった自民党の鈴木宗男衆院議員(当時)をめぐって汚職事件が10年に浮上すると、支援は大幅に縮小していった。

一方、北方領土全体で9年間に約280億円(約840億円)を投資する「クリル諸島社会経済発展計画」がスタートすると、街並みはロシア政府の主導で大きく変わりはじめた。

斜古丹や穴濁にはいま、近代的な幼稚園や学校がならび、ヘリポートも出来た。立派な消防署もほぼ完成し、仕上げの内装工事が進んでいる。

真新しい住宅があらわらに建ち始めた。港には大型船でも接岸できる埠頭が完成。以前は沖で停泊して、はしで旅客や貨物運んでいたのが今では直接陸揚げできる。

①(ロシア)オストロク村(大輪) デジタル版に動画

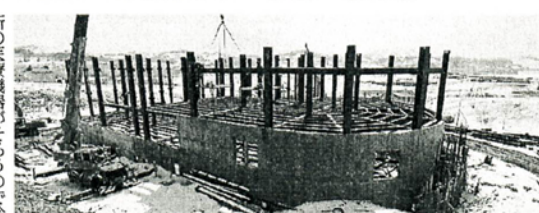
「返還絶対はない」

震災後に激減した人口も回復の兆しを見せ始めている。島の人口は3千人弱だが、昨年75人が生まれ、09年の五十数人から増加した。人口千人あたりの出生数は25.6人で、ロシア全土の平均の2倍だ。

プロスクリン氏は「新たに幼稚園や学校が建設され、子育て環境が整ってきた。開発が進み、島民は将来の生活に自信を持ち始めている」と指摘する。

島の返還について、住民の意識をさぐるうち、両町の街で20人に聞いた。8割の16人が返還に「反対」と答え、「賛成」と答えたのは2人だけだった(表)。

斜古丹のニケロフ町長は「政府が島に巨額の投資をしている以上、日本に島をかえすことは絶対ない」と言い切った。



色丹島穴濁に進む病院の建設工事。枠組みで作られた天井のコンクリートが3機設置されている。外壁には、この設備は日本国民の友情の印として、日本政府の人道支援により99年に完成した」と書かれ、日の丸がデザインされたプレートが掲げられている。

だが、島の開発が進むにつれて電力需要は急増。マサリンコ所長は「多くの住宅が新築予定で、新しい病院や給水施設もできる。供給能力が追いつかない」。

こうした中、斜古丹に数年前、「発展計画」の一環で発電施設が建設された。中に入ってみると、発電機は英国製だった。